

I 対象高等専門学校の現況及び特徴

1 現況

(1) 対象校名 沼津工業高等専門学校

(2) 所在地 静岡県沼津市大岡3600

(3) 学科等構成

学科：機械工学科，電気電子工学科，電子制御工学科，制御情報工学科，物質工学科

専攻科：機械・電気システム工学専攻，制御・情報システム工学専攻，応用物質工学専攻

(4) 学生数及び教員数（平成17年4月1日現在）

学生数：準学士課程1,056名，専攻科課程52名

教員数：84名（校長含む）

2 特徴

沼津工業高等専門学校（以下「本校」という。）は、産業界からの強い要望に応えるため、昭和37年4月に2学科（機械工学科，電気工学科）で創設された。以後、時代の要請に伴い、昭和41年に工業化学科を設置、昭和61年に電子制御工学科を設置、平成元年に工業化学科を物質工学科に改組、平成4年に機械工学科の1学級を制御情報工学科に改組、平成8年に専攻科（3専攻）を設置、平成11年に電気工学科を電気電子工学科に名称変更し、準学士課程5学科，専攻科課程3専攻として現在に至っている。

本校では、創設以来、「人柄のよい優秀な技術者となって世の期待にこたえよ」との教育理念の下、静岡県東部地区唯一の国立の高等教育機関として、地域産業に寄与する社会的使命と役割を認識しつつ、時代の変化に即応しながら、豊かな人間性を形成する教養教育に力を入れ、専門教育においては、実験・実習及び情報技術を重視した体験的早期専門教育を行い、実践的技術者を養成することを目的に教育を行っている。

この教育理念や目的に基づき、(1)低学年全寮制を主軸とするカレッジライフを通じて全人格教育を行うとともに、(2)コミュニケーション能力に優れた国際感覚豊かな技術者、(3)実験・実習及び情報技術を重視し、社会の要請に応え得る実践的技術者、(4)教員の活発な研究活動を背景に、独創的技術者の養成を教育目標に掲げ、「進取の気風に富み、幅の広い豊かな教養と質の高い専門の工業技術の知識を身に付けて、常に新たな発想の下に、技術革新を担うことのできるものづくりの基盤技術を支え

る、創造性豊かな、企業から信頼される指導的な実践的技術者の養成」を実践することにより、工業を中心とした産業界に多大な貢献を行ってきた。

準学士課程においては、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的として、一般科目と専門科目を楔形に編成し、5年間一貫教育で効果的な専門教育を実施している。また、準学士課程の成果を基礎としてさらに高度な知識と技術の習得を目指す専攻科課程においては、高等専門学校等の教育における成果と伝統を踏まえ、研究指導を通じた工学に関する深い専門性を基に、創造的な知性と視野の広い豊かな人間性を備えた技術者を育成するとともに、産業界との学術的な協力を基礎に教育研究を行い、地域社会の産業と文化の進展に寄与することを目的として、きめ細かい教育を行っている。

一方、本校では、他高専に比べて大きな特徴の一つに、前述の教育目標にも掲げた「低学年全寮制を主軸とするカレッジライフを通じて全人格教育を行うこと」がある。学生の人間形成を助け、かつ、学生の修学に便宜を供与し、教育目標達成に資するため、入学後2年間の学生寮入寮を原則義務付けている。教育寮である学生寮での寮生の指導には、専任の寮監を配置し、全教員の輪番の宿直とともに、寮務担当教員と学生課寮務係の職員が当たり、寮生が常時指導と助言が受けられる体制が整えられている。また、寮生が組織する「寮生会」による自治も効果的に機能し、共同生活による学生の社会性の向上に寄与している。

また、昭和51年に全国54国立高専で2校のみに設置された情報処理教育センター（現総合情報センター）では、中学卒業後間もない1年次から全学科の学生を対象に基礎的な情報処理教育を行うとともに、2年次以降においては、各学科の専門科目に関連した情報処理教育を行い、情報技術に強い技術者を養成している。さらに、本校では、総合技術開発能力のある学生の育成、地域産業界等との共同研究等の推進や地域産業の振興を目的に、平成16年度に地域共同テクノセンターを設置し、地域産業界と本校との共同研究等のテーマについて、学生も交えて具体的な実験、試験、解析を、最新の設備と研究環境の中で実施できるような体制を整え、産学連携や地域貢献を一層推進している。